

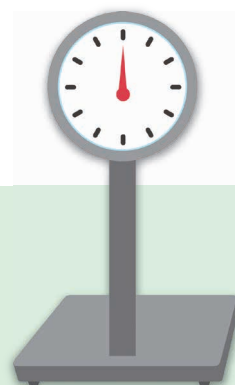
事業者の
皆さまへ

～業務用の「はかり」は定期検査を 受検しなければいけません～

消費生活センターでは、「はかりの検査業務」を行っています。
「取引・証明」に使用するはかりは、計量法により2年に1度の定期検査を受けるように義務付けられています。

【取引・証明に使用するはかりの具体例】

- 商品の値段を“重さ”で取引するための「はかり」
(例) 100g○○円で商品を売る、買い取る
- 小包郵便物、貨物運送事業者等の宅配便物の料金算出に使用する「はかり」
- 病院、薬局で調剤に使用する「はかり」
- 学校、病院、福祉施設等で健康診断に使用する「はかり（体重計）」



検査済みのはかりには「合格シール」を貼付しています。
みなさんもお店や病院に行かれた際には探してみてもいいでしょうか？

「消費生活教室」を受講してみませんか？

消費生活に関することなどをテーマに、専門の講師を招いて講座を行っています。
たくさんのご応募をお待ちしております。

日 時：5月～9月までの毎月1回 13:30～14:30
※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年より時間を短縮して開催予定です。

場 所：佐世保市常盤町 中央公民館（予定）

内 容：未定

※日時、場所、講座内容は、4月下旬に発送予定の
受講希望者への案内状にてお知らせいたします。

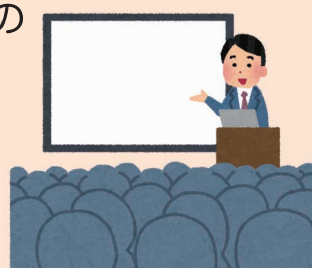
受講料：無料

申 込：受講を希望される方は、郵便ハガキに「教室受講希望」と明記し、「住所、
氏名、電話番号」を記入して、消費生活センターまで郵送してください。
電話による申し込みも受け付けております。

宛 先：〒857-8585 佐世保市八幡町1番10号

佐世保市役所 佐世保市消費生活センター

問合せ：消費生活センター（電話：0956-22-2591）



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密の回避に努めて開催いたします。
また、ご来場の際は、マスクの着用、手指の消毒等にご協力ください。
※新型コロナウイルス感染症に係る状況により、開催を中止する場合があります。
あらかじめご了承ください。

消費生活ニュース

No.181

令和3年2月発行

ちょっと考えて！ 世界の未来を変えるために

SDGs

SDGsとは、「Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標」の略称で、エス・ディー・ジーズと読みます。SDGsは持続可能でよりよい社会の実現を目指す、今から取り組んでいくべき、世界の共通目標です。
SDGsには、世界の国々が取り組むべき17の目標（ゴール）と、169の具体的な目標（ターゲット）が示されています。

SDGsは2015年に日本を含む193の国連加盟国の合意のもとに採択されました。私たちは、2030年までにこれらの目標を達成できるように取り組んでいくこととなります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



佐世保市消費生活センター

佐世保市八幡町1番10号(市役所12階)

☎0956-22-2591

■相談受付時間…8:30～17:15

■閉 所 日…土・日・祝日、年末年始

【相談をする際の注意点】

1. 相談は佐世保市民の方からのみお受けしております。
2. 事業者の方からの相談はお受けしていません。



SDGsは「誰も置き去りにしない」世界を目指しています。

今、世界ではさまざまな問題が起こっています。世界各地での紛争、政情の不安定、貧困、飢餓、不平等、差別、暴力、気候変動による自然災害の増加、資源の枯渇、自然環境の破壊などがあげられます。

世界が直面する課題を社会、経済、環境の側面から捉えて、17の目標を、先進国、新興国、途上国という垣根を越えて、世界中の人々が協力し、解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。誰も置き去りにすることのない世界をつくるのが、SDGsが大切にしている考え方です。

私たち一人ひとりの行動が、消費が、社会を変える力となり、世界の未来を変える力になると考えられます。

わが国の取り組み

消費者庁において、消費者基本計画（現在第4期）が策定され、消費者政策をめぐる現状の認識と、課題の分析を行い、政策の基本方針が決定されます。

今期の消費者基本計画における消費者政策の基本的方向は次の5つです。

- (1) 消費者被害の防止
- (2) 消費者の自立の支援と事業者の自主的取り組みの加速
- (3) 協働による豊かな社会の実現
- (4) デジタル化・国際化に伴う新しい課題への対応
- (5) 災害・感染症拡大など緊急時対応

基本方針に従ってさらに次に掲げる6つの重点的施策が推進されます。

	施策	関連するSDGsの目標 (1ページに記載の17の目標番号)
1	消費者の安全の確保	3、12
2	表示の充実と信頼の確保	3、12
3	適正な取引の実現	10、16
4	消費者が主役となって選択・行動できる社会の形成	1、4、8、10、12、14、15、16、17
5	消費者の被害救済、利益保護の枠組みの整備	10、16、17
6	国や地方の消費者行政の体制整備	1、3、4、10、16、17

私たちの生活とSDGs

2020年7月1日から、レジ袋の有料化が始まりました。これまで無料だったレジ袋が、1枚2円～5円で販売されるようになりました。

このことは、SDGsとどのような関係があるのでしょうか？

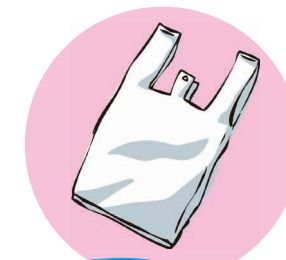
プラスチックは、とても便利な素材で、あらゆる分野で私たちの生活を便利にしています。しかし、一方で廃棄物、資源の枯渇、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの問題も抱えています。

レジ袋の有料化によってレジ袋を減らすことが、気候変動や海洋プラスチックごみ問題を解決するための「第一歩」になると考えられます。

3R（リデュース・リユース・リサイクル※1）への取り組みも考えましょう。

（関連するSDGsは、1ページの目標番号12、13、14など）

※1 リデュース…ごみそのものを減らすこと リユース…何回も繰り返し使うこと
リサイクル…資源として再利用すること



私たちの日常の買い物は、SDGsとどのような関係があるのでしょうか？

例えば、毎日着ているシャツや、日本人も大好きなチョコレートはどのように作られているのでしょうか？

Tシャツの原料である綿花はその約80%が、またチョコレートの原料であるカカオも、発展途上国で栽培されています。

綿花やカカオの栽培のために安価な賃金で労働を強いられる、また安くしか買い取ってもらえない場合、これでは貧困から抜け出すことができません。使用される農業による健康被害や、児童労働も大きな問題です。

（関連するSDGsは、1ページの目標番号1、2、4、8、10、12、16など）

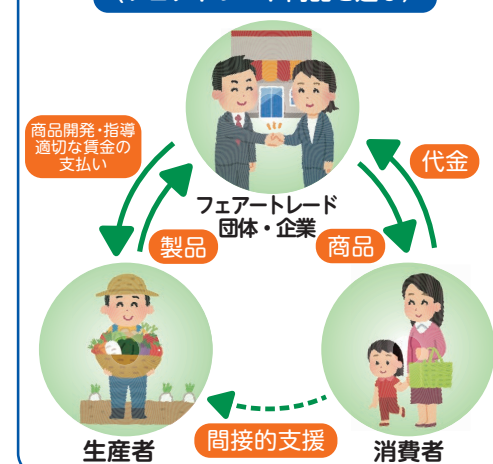


このように、私たちが着ている服、私たちが口にする食べ物、農水産物、私たちが使う食器、便利な電気製品はどのように作られ、どのようにして私たちの手元に届いたのか、日頃あまり気に留めずに消費していますが、商品ができるまでを考えてみましょう。

これを「エシカル消費※2」といいます。人や社会、環境へ配慮して消費行動をすること、また人や社会、環境に配慮した企業の製品を選択すること、「エシカル消費」は私たちができるSDGsの第1歩だと思います。

※2 エシカル消費については、消費生活ニュースNo.180（前月号）にて詳しくご紹介しております。

エシカル消費の一例 (フェアトレード商品を選ぶ)



未来に向けて、今日から1歩SDGs！